

東北の工時報

年頭斷感

主筆 高木良衛

年初以來多事多難なりし昭和七年は時局重大なる非常時日本の國運を展開すべき乾坤一擲の秋を殘して多忙の裡に暮れんとす我等は此の年を送るに當りて八千萬同胞總立ちとなり國運の伸張と難局打開に一致團結決死的覺悟を以つて海外に當らねばならぬことを痛感するものである

昭和七年上半年期に於て 國家的損失として上下を傷心せしめたものは前首相犬養毅氏の長逝を見たことである 今更その死因を論議するは我等の志でないが 若し此の人をして現時は健在ならしめば 内外時局の重大に處して必ずや現狀以上の世相を表現せしめ上下を安んぜしむるに足るものあらんかと思はしむるものなしとせず それだけ首相の長逝が國家的損失たる所以である 故に犬養氏の如き若しくは濱口氏原敬氏の如き 眞に國家の重大事を託すに足る人材を凶惡にして無慮なる直接行動に倒れしめたる事は立憲政治のために恨事となしなればならぬ

その後國民の輿望を一身に擔つて立つた齋藤實氏は舉國內閣と銘打つて内治に外交にその政策も精彩を發揮して相當の苦心と努力を以つて時局の重大に處してゐる

殊に滿洲新國家成立以來 その衝動は聯盟理事會に容易ならぬ情勢を發生せしめ孤立的狀態を現出して 速に時局の重大を意識せしめたのであつたが 正を踏んで屈せざる帝國の態度は支那及び滿蒙の實情に認識の不足せる列國代表をして その認識不足を補正する各般の努力を以つて遂に日本の主張を基礎とする結論に到達せしめ 國家的姿勢はそこに完全に整頓せられその反映は直接に列國とその國民とに著大なる反省意識を呼び起さしむるに足るものがある

我等は讀者諸賢と共に多事多難なりし過去の一切を忘却し去つて 清新潑刺 生々躍如してやまぬ昭和維新の光を仰いで創造進化の大道を慕進したき誓願に燃焦しつゝある

本紙は昨夏 郷土諸賢の熱烈なる聲援と深甚な理解の上に發刊致し 不肖微力を以つて充分の業績を殘し得ざりしは遺憾至極である

然るに大過なく昭和八年の新春を迎へるに至つたは之れ皆本紙賛援支持者各位の賜と衷心より滿腔の謝意を表すものである

終りに臨んで讀者諸賢の健康を祈ると共に國家的にせよ國民的にせよ榮光の輝あらんことを期待し讀者と共に喜んで昭和八年を迎へんとするもの下である

行發日廿日十日一月三月每
治代喜木高人行發兼編
社三廿町川新町平縣島福
社時工南北東所行發
錢十五金行一料告廣
錢十月ケ一錢五金部一
錢廿圓一 共稅郵年ケ一



好間すみれ吟社

題 雪折 名殘の空

雪折れのしたゝか谷に 秋岳
響けり 秋岳
吹きまくる風に名殘りの 秋岳
空けはし 秋岳
雪折れに縫ふ手をしばし 寒山子
止めけり 寒山子
煙吐かぬ名殘りの空の 寒山子
工場かな 寒山子
寄鍋や隙もれのする 久人
吹雪かな 久人
星光る名殘の空を 久人
みつめけり 久人
闇深く雪折れ竹の 六茶
響きけり 六茶
雪折の空はばけする 秀山
小鳥わな 秀山
殘業に名殘の空を 四峯
仰ぎつゝ 四峯
旅に出て名殘の空の 青柳子
一日かな 青柳子
雲張りて名殘の空の 一茶
星消ゆる 一茶
音高く雪折れのする 美山朗
今宵かな 美山朗
友逝ける名殘の空は 吟山
唯青し 吟山

謹賀新年

貴族院議員 金木安島重三郎
衆議院議員 比佐昌平
八田宗吉
助川啓四郎
佐藤庄太郎
鈴木辰三郎
小島智善
井上茂作
石橋俊夫
唐橋重藏
野崎滿壽
石川英亮
鈴木英吉
鈴木英吉
赤坂毅一
田子健吉
太田秋之助
三田秋之助
松永高之助
萩原義之助
中目全武功

片倉直人

片倉製糸紡績株式會社
片倉米穀肥料株式會社
東京市京橋區三丁目二

郡山市
丸伊吳服店
社長 今泉得三

郡山市細沼町
燃料問屋 大森商行

私設電話認可工事並保守
電氣瓦斯器具一式販賣
佐藤電氣商店
郡山市 電話三六〇番

謹賀新年
東北商工時報社
古川浩民
越堀梅吉
高木良衛
古川哲夫
社員 一夫
飯坂支局
飯坂町十綱下十一今般左記の地へ支局設置致候付同地の通信其他一切の用件は同局へ申込相成度致候也

縣下各銀行 整理全く成る 四行は商事會社に

銀行法改正による即ち無又は貸金をなすものにあらず資格銀行八行のうち猪狩代、銀行當時の貸金を回収銀行は前知事村井氏の奔走して預金にふり向けるといにより單獨増資することにより、いはゆる整理機關であり須簽銀行は解散し、白河實業、棚倉共同の兩銀行のうちこれ整理させるとは合併することに決し、残るを整理させるとは、田島の四銀行は商事會社を除き農工貯蓄の特殊銀行に、はめることになつた行の外會津、郡山商業、瀨谷のものである、これを以て本岩瀬、磐城實業、原町警越縣にとつても多年の懸案で川俣、田村實業、矢吹、小ある小資銀行の整理全く完、濱實業、小高實業三春の以了するに至つたが各商事會社上十六行である

商工業者の

低利資金は 追加貸付實行されぬ?

福島縣に對する昨年度中實狀なのでその後依然として小商工低利資金は先きに百て商工省からの同資金配當萬圓の配當があつた際そのの見込みが立つていない、三倍借入希望に對し縣商工右につき油井福島商工會議水産課において調査の上十所會頭は赤土内務部長を訪人連帶團體及び有權課の個問し此際縣が保證して農銀人で回收の見込み充分なるを經由し應分の資金を貸付者に對し割當て貸付を終つてけるやう交渉したか縣として、然るに配當に漏れた者では未だ前例もなく又銀行は農工銀行を經由して同様にしてこれを引受けること、の低利資金を借りたい希望になつてゐるから縣自からで再三交渉を續けてゐる様保證するが如きことは全然様だが農銀側者の資格を證考慮してゐない模様である衡すれば殆ど貸與し得ない

市町村會議員 選舉序曲

早くも奏でらる
来る四月全國一齋に行はれても相當關心ある議場風景る市町村會議員選舉は如何を呈すてあらう又政民兩支なる情景を示すかは勿論豫部も亦々新春早々議會休會側されぬが縣下市町村は中を利用して市町村會議員早くも来る選舉に對し相當選舉對策の大綱を協議決定の噂話に興味を添へてゐるする豫定であるが個人的の特に小名濱町會の如きは一動きは潜航式に早くから計月二十日に同會の町會には畫と實行に着手されてゐる町長選舉其他議案審議に於て

製燐の化學

本邦唯一の工場
工學士 原 源 六 氏

本邦唯一の製燐工場とし地盤をきつてゐるが原氏て少からぬ利益を擧げつゝは工場經營者と云ふよりもある東邦製燐郡山工場には學者と云ふが適評で工場員工學士原源六氏監督の下にの評判も甚だよい日本一と日夜黒煙を擧げて郡山東方なるだけ郡山市の誇りでもの工場地帯に動かし得ないあらう

八面觀

▲通常縣會に於ける歳費還元案は何事だ縣財政の極めて困難に陥つてゐるときこうした舉に出ること、は甚だ失當で縣民の負擔を重からしむる根源となる實に怪しからん、たのまぬからやめろ
▲一体低級なる野郎共がワイ、騒ぐ場所かタワケ共チト恥を知れ
▲商店に來る客の種類はあらゆる階級あらゆる人類を網羅してゐる老若男女

面相どころか萬面相が入りかはり立ちかはり店に見參するのである
▲さうゆう客を相手にしてゐる商店員諸君の氣苦勞と努力は並大抵ではなからうがそこに又愉快がある張合があるしかるに大抵の商店では容易にとらへられぬ客をも不用意のうちには大部分にがしてゐるのはどうしたものか大きな資本という網をば降してをりながら中に入つて來たお客といふ澤山な魚をば細の目からすぼつとにがしてしまふのはさうゆうものか

謹賀新年

高級映画封切
日活 平 館
松竹 松田卯次郎
電話四六六番
磔城平 末 廣
電話四二二番
平町南町 カフエー
パラダイス
電話三八三番
平町田町 石川亭
電話四三三番
カフエー 黒 壽
平町 磐城共濟病院
電話六四一番

金成醫院 電話三五八番
渡部外科 電話二七七番
山内醫院 電話六九一
難波醫院 電話五〇三番
木村病院 電話一六四番
平町新川町 長小次郎
平町五丁目 入江商店 電話五八二番
平町田町 三二三屋
平町七丁目 飯澤達次
平町五丁目 植村喜一
平町一丁目 水野藥局
平町三丁目 堀藥局 電話三二六番
平町新川町 橋本屋商店 電話一六三番
平町新川町 鈴木衣類店
平町一丁目 坂本紙店
平町田町 馬目支店 電話二五四番

磐城平町新川通 家具 雜貨 いとう家具店 年賦販賣可致候
平町三丁目 日光商會 藤市 電話二〇五番
平町三丁目 太丸屋商店 横山彰介商店 電話二二三番
平町三丁目 同 大谷時計店 西村屋藥舖 電話一九番
萩原業部 萩原申八
五十嵐炭礦不動澤業所 高階一郎
杉山炭礦業所 杉山今朝吉
小田隅田川炭礦 小田吉次
浪花炭礦業所 佐藤留藏

小名濱町長は 小名濱から

老練の士

飯塚 榮一郎氏

後任町長として第一人者?



小名濱町長改選も差迫り種々勤務せる關係上町政にあり席温まるいとまなき程なる風評が巷間に立つては一隻眼を有す 格別の批の活動家である 發辣たるるが未だ輿論として一致 難もなく二期を勤むる忠實精氣を帯びて第一線に立つせず 現町長鈴木榮氏も齡な助役であるがため下馬評氏が町長の椅子に座るかに既に八十歳になん／＼とすに昇るも當然のことであるが疑同である 町民一般る老練をびつさげて 今や振興途上にある小名濱町長の激務には餘りにいた／＼しく 過去二十余年間復雜せる諸問題に直面して町のため最善を盡し殊に商港修築問題に對しては身命を賭して努力奮闘以つてその成果を修めつゝあるは小名濱町のため偉大なる功績とせねばならぬ 氏の老体を此後ともわすらはすは町の恩然し少しく年が過ぎそのの與望を擔ふとしても氏のみに對してのびす老後を靜觀的態度は一面無氣力の性格より推して事業家では悠々自適の生涯に入らしむ嫌があるやに感せらるゝ あるいは町長としてはどうかあるは氏に對する禮ではある 又輸入町長も多士濟々たると思はれる點も多々あるまいか

然らば後任町長は誰か：適人者を何人に求むるかは町將來のため實に重大なる問題である 噂に高木助役の昇進あり飯塚老の出馬説小野晋平氏又は輸入町長等區々として一致を見るには致らず 高木助役は明晰にして鋭敏なる頭腦の持主であり早くより町役場吏員とあり

益々壯者をしのぐものありに當り 果斷迅速一步も誤過渡期にある小名濱町長とらざる体の人を町長としてしては適人者の一人である 飯塚氏の今氏は明治二十二年町村制實施以來町役場書記として勤務すること七年 時恰も日清戦役の終局を告げ我帝國の権を進展するの機運に到達したとき海外に一大飛躍を志し奮然と立つて渡航を畫し直ちに上京 時の農商務次官金子堅太郎子爵の知遇を受けた あること六年いよ／＼渡航の運びに到りたるとき家庭に於ける捨て難き事情のため やむなく歸着しその目的を達成することが出来なかつた

以來小名濱にあつて常盤線開通と共に暫時衰頹し行く町状を見つめ如何にして我町の向上發展を計るべきかに日夜意をそゞぎ 明治三十四年町會議員に擧げられてより當選すること五期その間漁港より進んで商港となし平小線の延長 上水道の原水たるべき鯉川疏水工事等の三大事業の實現にあたり 不撓不屈の精神とたゆみなき努力とを以て三十年間一日の如く町治のためには殆ど一身を捧げてきた本町に於ける出來事には細大洩らさず氏の關係せぬものはなきまでに町の事情に至つては何事も人以上に知悉してゐる

今や小名濱は過渡期にあり非常時の決心を以つて町政

謹賀新年

- 小名濱町會議員
- 小野 晋平
 - 小松 重兵衛
 - 立花 雄七
 - 小野 務平
 - 中野 鐵之助
 - 野崎 長治郎
 - 小 松 力
 - 江尻 甚太郎
 - 熊谷 寅次郎
 - 小濱 長太郎
 - 岡 山 重喜
 - 草野 良太郎
 - 堀 越 新平
 - 吉 田 龜之助
 - 松 本 徳次郎
 - 村 上 淨代二
 - 菅 原 彌作
 - 佐 川 松太郎

謹賀新年

- 磐城水産工業株式會社
社長 小野 晋平
支配人 福 尾 伊太郎
- 小名濱運輸株式會社
小名濱水産株式會社
二本松電氣小名濱支店
小名濱信用購買組合
- 小名濱女子技藝學校
小名濱藝妓屋組合
小名濱料理屋組合
小名濱二業保健組合
- 水野 順弘

立花雄七氏?

過般問題を引起した小の期待を掛けつゝある 今濱長太郎氏は愈々辭職するや漁業組合長の職も去つて意を披瀝した、め早やくも比較的閑地にあり義侠に富後任問題が再び起り二三話む親分肌の氣概は消防組頭題の人もあるが立花雄七氏としては此の上もなく多士の呼聲が巷間に相當高まつ 濟々の小名濱と云へども氏してきた 氏は現に町會議員に優る人はない 氏にしてとして町政に參與し又消防組頭の職を擔得れば町民の位置にある有力者であり一よりあきらかである

小名濱町醫師團

- 久保 田 醫院
中 村 醫院
佐 瀨 醫院
宮 津 醫院
平 川 醫院
佐 藤 齒科醫院
木 田 齒科醫院

謹賀新年

小名濱町 學務委員
馬 上 兵 吉
野 崎 昇 太 郎
堀 越 武
丹 野 寬 平
佐 伯 三 郎
小名濱町登記役
佐々木善作
小磯元藏
小名濱町横町
自性院
住職 竹村智連
小名濱町須賀町
中村瀧次
小名濱町米野
藥品、化粧品、小間物類
寶屋商店
電話三九番
小名濱町米野
小島竹次郎
泉、湯本乘合自動車
馬目喜右工門
小名濱町中島
警城座直營
鈴木興行社
小名濱町

荒物雜貨木炭
阿部悦太郎
小名濱町横町
小名濱町米野
荒物雜貨
文屋
佐藤庄次
小名濱町中島
野口信吉
小名濱町中島
樋口吳服店
小名濱町
若 春 家 竹
三 春 家 米
新 春 家 米
す ま 家 家
藤 家 家
御料理
幾 久 世
小名濱町横町
料理店
こきわ
竹の家
深山亭

須賀川醬油株式會社
須賀川酒造株式會社
平販賣店
平町新川町
平町一丁目
飯田近治
平町一丁目
ミクニ
三九二
タクシー
マツザキ
電話四四九
三九二
平町二丁目
三井タクシ
電話六八五番
平町
好間軌道
株式會社
平町七丁目
正金商會
芳賀沼源太郎
電話三九〇番
平町驛前
住吉屋
セメント店
酒井伴藏
平町四丁目
鶴屋商店
電話一四〇番
平町二丁目
關内正一

電灯メートル工業請負
電氣器具 精米機製粉機
附屬品類
各種モートル並にベルト
木村電氣商會
平町新川町二四
電話一七九番
平町白銀町
田邊商店
田邊忠造
電話二九四番
平町大町
山野邊材木店
電話五三〇番
平町三丁目
三井吳服店
電話三八番
平町二丁目
中野洋品店
電話五三番
寫真材料一式
小野屋藥局
平町四丁目
平町三丁目
丸ぼん
家具漆器筆筒雜貨
電話三五九番
平町二丁目
大一屋商店
電話一三番

平町四丁目
渡部米穀問屋
平町搔槌小路
武藏鐵工所
遠藤稻吉
電話五一四番
平町三丁目
なかや洋服店
電話二〇三番
平町三丁目
大黒屋商店
電話一一六番
平町大工町
多田井笑次郎
電話五九一
平町田町
ハシモトヤ
糸店
電話一四番
平町四丁目
百澤商店
電話十二番
平町四丁目
關内藥局
電話四〇番
平町
一〇商店
電話二六八番
平町屋町
藤沼醫院
院長 藤沼平次郎
電話五〇七番

平新川町
谷屋吳服店
電話四三七番
平新川町
石川屋菓實店
國井一美
平新川町
清水藥局
平新川町
濱田酒店
銘酒 沖正宗
平新川町通り
諸橋吳服店
電話五〇番
平新川町
白寶堂時計店
平新川町
薄葉己之松
菓子舖
同
フタバ
自轉車商會
同
樋口自轉車店
平大町
堀材木店
同
宇佐見材木店

警城炭礦株式會社礦業所
入山採炭株式會社坑務所
古河炭礦株式會社好間鑛業所
石城郡銀行組合
平藝妓屋組合
平料理屋組合
平三業保健組合
平町旅館組合
平町西洋料理組合
石城郡各校長會
石城郡町村長會
警城建物株式會社
平庶民金庫
平運輸株式會社
片倉警城製糸株式會社
東部電力株式會社平營業所
平製氷株式會社
福島貯蓄銀行平支店
山崎合名會社
關彰商店平支店
郡山無盡株式會社出張所
合資會社三共商事
堀江工業株式會社